

ワールド ウッド トレンド

No. 8, 18 JULY 2017

1. 韓国の 2017 年度木材需給見通し

韓国の 2017 年度木材需給見通しはこのほど、発表された。その概要は次の通りである。

(1) 2017 年度木材需給の概要

- 木材需要量：30,955 千 m³（製材用 6,554 千 m³、バイオマス用 3,247 千 m³、原材料等 21,154 千 m³）
- 需要量 30,955 千 m³のうち、国産材 5,417 千 m³、輸入材 25,538 千 m³。木材自給率は、2016 年の 16.2%から 2017 年の 17.5%へと向上される見通しである。

(2) 木材需給展望

韓国は、世界貿易景気の回復に伴う輸出改善で 2.4%（2016 年度 2.7%）水準の国内経済成長と、OPEC のオイル減産合議で国際原油価格（Brent 原油基準）の緩やかな上昇（2015 年の 52.3 ドル/バレルから 2016 年の 43.4 ドル/バレル、2017 年の 50.9 ドル/バレルへ）とみている。

このような考えを基に、同国は、環境に優しい木材の選好及び新再生エネルギー義務割当制政策によって、木材の需要は徐々に増加すると予想されるが、パルプなどの原材料の需要は前年対比横ばいを維持し、用途別の木材需給の見通しは以下のとおりである。

- ・ 製材品：建設景気の沈滞にも関わらず木材選好に伴って、持続的に増加し、前年比 1.2%増加。

（製材品需要量：2013 年 5,736 千 m³、2014 年 6,006 千 m³、2015 年 6,387 千 m³、2016 年 6,479 千 m³から 2017 年の 6,554 千 m³への増加見通し）

- ・ 木質バイオマス：下落する国際原油価格の上昇傾向に伴って、木質バイオマス用の需要は、前年比 16.1%増加。
(木質バイオマス需要量：2013年 1,865 千 m³、2014年 4,605 千 m³、2015年 3,164 千 m³、2016年 2,796 千 m³ から 2017年 3,247 千 m³ への増加見通し)
- ・ 木質ボード類：パーティクルボードに対する消費が高まり、その需要は引き続き増加する(前年比 3.6%増)。
(木質ボード類需要量：2013年 3,065 千 m³、2014年 3,646 千 m³、2015年 4,108 千 m³、2016年 3,482 千 m³ から 2017年の 3,980 千 m³ への増加見通し)
- ・ パルプ用：電子機器の使用に伴う印刷用紙の減少で、製紙生産量は前年比 0.7%減少。
(パルプ用需要量：2013年 10,926 千 m³、2014年 10,405 千 m³、2015年 10,636 千 m³、2016年 10,587 千 m³ から 2017年の 10,518 千 m³ への減少見通し)
- ・ その他：キャンピングの活性により薪 (2.8%) 及び木屑 (22.5%) などは増加すると予想されるが、農山村の高齢化などでシイタケ用の木材需要は減少する見通しである。

なお、用途別の木材需給の見通しの詳細は次のページの表のとおり。

(3) 国産材の拡大生産のための森林政策方向

- ✦ 伐採制度：伐採制度の早期定着のための制度施行基盤の強化
 - ・ 伐採担当公務員及び原木生産者に対する伐採教育強化による、環境に優しい伐採制度の早期定着
 - ・ 伐採予定数量調査書の作成及び伐採地の点検などの伐採許可制度の管理強化
- ✦ 木材生産：木材産業の育成と気候変動に対応するための木材生産量の拡大
 - ・ 樹種更新のための造林面積の拡大、林道等のインフラ拡大で木材生産量は増加する展望

(木材生産量の拡大：2016年 500 万 m³ から 2017年の 541 万 m³、2020年の 620 万 m³、2035年の 1,071 万 m³ へと拡大)
- ✦ 木材流通：原木の生産から最終消費までの木材流通システムの改善
 - ・ “木材資源管理システム”を運営するために関連法律の制定

- ・ 国産材の流通実態及び原木価格の形成要因などを分析して、木材流通市場を改善
- 木材産業：森林バイオマスエネルギーなどの新しい木材需要の開拓
 - ・ 国産原木のバイオマスエネルギー使用への拡大
 - ・ 公共機関による国産材の優先購買制度を通じて国産木材の利用活性化を推進

韓国の 2017 年度木材需給見通し

(単位：千m³)

区分	合計			国産材 (原木)	輸入材			自給率		
	計	原木	製品		計	原木	製品	原木	総木材	
合 計	合計	30,955	9,269	21,686	5,417	25,538	3,852	21,686	58.4%	17.5%
	製材品	6,554	4,363	2,191	949	5,605	3,414	2,191		14.5%
	合板用	3,674	414	3,260	-	3,674	414	3,260		-
	パルプ用	10,518	1,153	9,365	1,153	9,365	-	9,365		11.0%
	ボード類用	3,980	1,739	2,241	1,715	2,265	24	2,241		43.1%
	バイオマス用	3,247	264	2,983	264	2,983	-	2,983		8.1%
	その他用	2,982	1,336	1,646	1,336	1,646	-	1,646		44.8%
内 需 用	小計	30,767	9,269	21,498	5,417	25,350	3,852	21,498		
	製材品	6,514	4,363	2,151	949	5,565	3,414	2,151		
	合板用	3,670	414	3,256		3,670	414	3,256		
	パルプ用	10,471	1,153	9,318	1,153	9,318	-	9,318		
	ボード類用	3,910	1,739	2,171	1,715	2,195	24	2,171		
	バイオマス用	3,247	264	2,983	264	2,983		2,983		
	その他用	2,955	1,336	1,619	1,336	1,619		1,619		
輸 出 用	小計	188	-	188	-	188	-	188		
	製材品	40	-	40		40		40		
	合板用	4	-	4		4		4		
	パルプ用	47	-	47		47		47		
	ボード類用	70	-	70		70		70		
	バイオマス用							0.2		
	その他用	27	-	27		27		27		

2. 樹種別の全国原木の市場価格

(1) マツ

- マツの市場価格は文化財及び韓屋（韓国の伝統住宅構造）等に使用される特用材級では、韓屋市場に対する消費減少で、市場価格は前期対比 1.4% 減少（417,800→411,900 WON/m³）。
- 一般製材用材は前期価格を維持する。17

表1 マツの市場価格（単位 WON/m³、(WON/トン)

等級	2016年			2017年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特用材級	417,800	417,800	417,800	413,600	411,400	410,600
1等級	229,100	229,100	229,100	229,100	229,100	229,100
2等級	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200
3等級	177,700	177,700	177,700	177,700	177,700	177,700
円柱材級	172,400	172,400	172,400	172,400	172,400	172,400
原材料級	61,900 (77,400)	62,200 (77,800)	62,400 (77,800)	62,400 (78,000)	62,400 (78,000)	62,400 (78,000)

注：特用材級のマツは 42 cm×3.6m 基準である。原材料級の（ ）の価格は WON/トンである。

(2) カラマツ

- カラマツの市場価格は供給量の不足及びカラマツに対する需要増加で、2等級原木の価格は前期対比 0.9% 上昇（138,800→139,800 WON/m³）。
- 原木供給量の変化で原材料級の価格は前期対比 0.9% 上昇（77,100→77,800 WON/トン）。

表2 カラマツ原木の市場価格（単位：WON/m³、(WON/トン)

等級	2016年			2017年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特用材級	151,600	151,900	151,900	152,200	152,200	153,000
1等級	145,100	145,400	145,500	145,700	145,700	147,000
2等級	138,500	138,900	139,000	139,200	139,200	140,900
3等級	132,100	132,600	132,800	133,000	133,200	134,600
円柱材級	128,300	128,700	128,800	128,900	129,000	130,800

原材料級	61,300 (76,700)	61,800 (77,200)	62,000 (77,500)	62,000 (77,500)	62,400 (78,000)	62,400 (78,000)
------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

※原材料級の（ ）の価格はWON/トンである。以下同じ

(3) チョウセンゴヨウマツ

- 建築用材及びパルプ・ボード類の原材料であるチョウセンゴヨウマツは原木供給量の減少で、原材料級は前期対比 1.2% 上昇（76,400→77,300 WON/トン）。

表 3 チョウセンゴヨウマツの市場価格（単位：WON/m³、(WON/トン)

等級	2016年			2017年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特用材級	156,200	156,200	156,200	156,200	156,200	156,200
1等級	139,500	139,500	139,500	139,500	139,500	139,500
2等級	135,100	135,100	135,100	135,100	135,100	135,100
3等級	129,800	129,800	129,800	129,800	129,800	129,800
円柱材級	128,900	128,900	128,900	128,900	128,900	128,900
原材料級	66,600 (75,800)	61,200 (76,500)	61,400 (76,800)	61,400 (76,800)	62,000 (77,500)	62,000 (77,500)

(4) リギダマツ

- パルプ・ボード類の需要先の原材料級の価格調整によって、前期対比 0.8% 上昇（77,100→77,800 WON/トン）。

表 4 リギダマツの市場価格（単位：WON/m³、(WON/トン)

等級	2016年			2017年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1等級	124,700	124,700	124,700	124,700	124,700	124,700
2等級	119,400	119,400	119,400	119,400	119,400	119,400
3等級	115,200	115,200	115,200	115,200	115,200	115,200
円柱材級	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000
原材料級	61,500 (76,900)	61,700 (77,100)	61,800 (77,300)	61,800 (77,300)	62,200 (77,800)	62,500 (78,100)

(5) ヒノキ

- 日本産ヒノキの輸入増加及び WON-円貨為替の下落の影響で国内産ヒノキ 1 等級の価格は前期対比 0.2%減少 (251,200→250,600 WON/m³)
- 円貨為替の変化 (2016 年 12 月 1030.97WON/100 円→2017 年 3 月 1004.22WON/100 円)
- 日本産ヒノキ輸入量 880m³ (2016 年 3 月累計) → 1,360m³ (2017 年 3 月累計)

表 5 ヒノキの市場価格 (単位 : WON/m³、(WON/トン))

等級	2016 年			2017 年		
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 等級	252,500	250,600	250,600	250,600	250,600	250,600
2 等級	243,800	241,900	241,900	241,900	241,900	241,900
3 等級	115,000	115,000	115,000	115,000	115,000	115,000

(本文は現地レポートを基に編集したもの)